



NS Solutions

2017年3月期上期 (2016年4月～2016年9月) 決算説明会

2016年10月28日

代表取締役社長 謝敷 宗敬

新日鐵住金ソリューションズ株式会社

目次

I . 2017年3月期上期実績

II . 2017年3月期 業績見通し

III . トピック

I

2017年3月期上期実績

I - 1 . 2017年3月期 上期連結決算ハイライト

		対前年度	(対見通し)
◆ 売上高	1,059億円	-4億円	(+29億円)
◆ 営業利益	98億円	+0億円	(+11億円)
◆ 当期純利益※	66億円	+6億円	(+10億円)

※本資料における当期純利益の表記は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を表しております。

I - 2. 2017年3月期 上期連結決算業績

単位: 億円	2016/3期 上期実績 A	2017/3期 上期実績 B	対前年 差異 B-A	2017/3期 上期見通し(4/28) C	対見通し 差異 B-C
売上高	1,063	1,059	-4	1,030	+29
業務ソリューション	675	683	+8	655	+28
サービスソリューション	388	375	-13	375	+0
売上総利益	220	223	+3	211	+12
<売上高総利益率>	<20.7%>	<21.0%>	<+0.4%>	<20.5%>	<+0.6%>
販管費	122	125	+3	124	+1
営業利益	98	98	+0	87	+11
経常利益	101	102	+2	90	+12
親会社株主に帰属する 四半期純利益	60	66	+6	56	+10

I - 3 . 2017年3月期上期

サービス・顧客業種別売上高

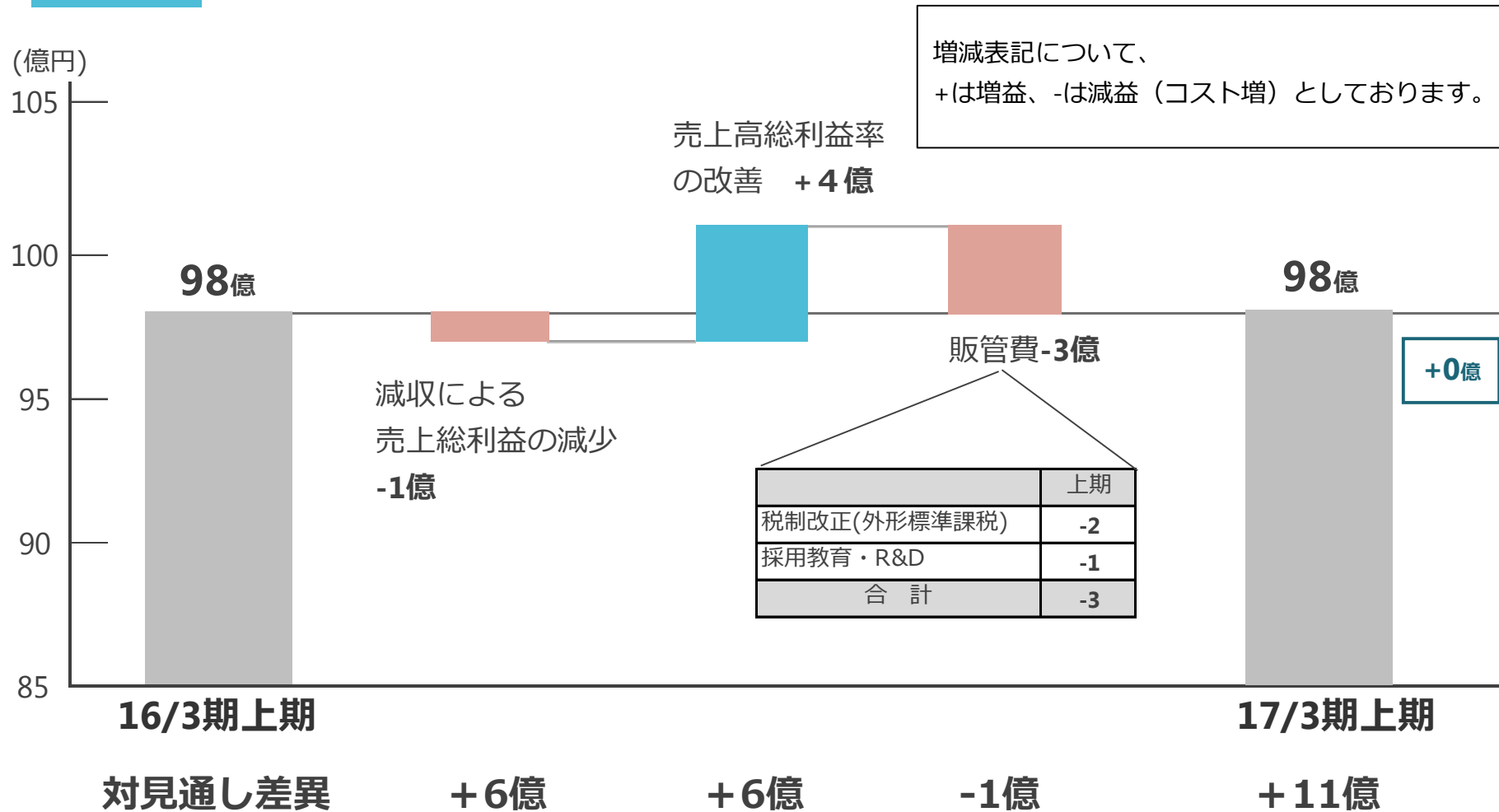
単位: 億円	2016/3期		2017/3期		対前年差異		コメント
	上期実績 A	うち ITインフラ	上期実績 B	うち ITインフラ	B-A	うち ITインフラ	
業務ソリューション	561	156	571	152	+10	-4	
産業・流通・サービス	265	90	271	84	+5	-7	製造業におけるPLM等の増
金融	179	37	182	41	+3	+3	メガバンク、その他銀行、証券とも昨年水準を維持
公共公益他	116	28	119	27	+2	-1	中央官庁向け大型基盤案件(長期契約)の受注
サービスソリューション	382		366		-15		
ITインフラ	135	<156>	139	<152>	+4	<-4>	クラウドの増、従来型運用サービスの減
鉄鋼	247		228		-20		NSSMC向けの減
子会社等	120		121		+1		
合計	1,063		1,059		-4		
(参考)NSSMC向け	(241)		(226)		(-15)		
受注高	1,116		1,157		+41		

I - 4 . 2017年3月期 上期四半期連結決算業績

単位:億円	2016/3期			2017/3期			対前年差異		
	1Q期 実績	2Q期 実績	上期 実績	1Q期 実績	2Q期 実績	上期 実績	1Q期 差異	2Q期 差異	上期 差異
	A	B	C	D	E	F	D-A	E-B	F-C
売上高	512	551	1,063	500	558	1,059	-12	+8	-4
業務ソリューション	323	352	675	318	365	683	-5	+13	+8
サービスソリューション	189	199	388	182	193	375	-7	-6	-13
売上総利益	108	111	220	110	113	223	+1	+2	+3
<売上高総利益率>	<21.1%>	<20.2%>	<20.7%>	<21.9%>	<20.3%>	<21.0%>	<+0.8%>	<+0.1%>	<+0.4%>
販管費	62	60	122	64	61	125	+2	+1	+3
営業利益	47	52	98	46	52	98	-1	+1	+0
経常利益	49	52	101	49	53	102	+0	+1	+2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	28	32	60	30	36	66	+2	+4	+6

I - 5 . 2017年3月期上期連結営業利益分析

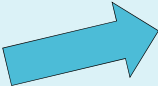
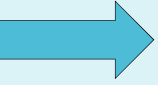
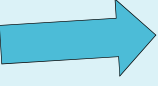
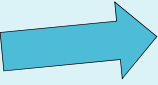

対前年



II

2017年3月期 業績見通し

Ⅱ-1. サービス・顧客業種別の市場認識

市場認識		市場動向
業務ソリューション		
産業・流通・サービス	製造業はPLM(*1)や生産管理等の戦略的なシステム投資が活発。	
金融	メガバンクは、海外展開を含め中期的な成長戦略を踏まえたIT投資が高い水準で継続。	
公共公益他	政府IT予算は、厳しい競争環境が継続。官公庁の基盤案件を中心に、セキュリティ対応力強化等により案件獲得を図る。 テレコムは厳しい事業環境が継続するも、新技術領域での拡大を期待。	
サービスソリューション		
ITインフラ	統合基盤構築・刷新、サイバーセキュリティ対応、VDI(*2)/DaaS(*3)等の端末統合管理の需要は引き続き堅調なものの、意思決定にはやや時間が掛かっている。	
鉄鋼	NSSMC統合DAY2対応が高水準で継続。	

*1:PLM:Product Lifecycle Management

*3:DaaS:Desktop as a Service

*2:VDI:Virtual Desktop Infrastructure

Ⅱ-2. 2017年3月期 連結業績見通し

単位: 億円	2016/3期 実績 A	2017/3期 見通し B	対前年 差異 B-A	2017/3期 期首見通し
売上高	2,187	2,230	+43	2,230
業務ソリューション	1,425	1,450	+25	1,450
サービスソリューション	762	780	+18	780
売上総利益	437	457	+20	453
<売上高総利益率>	<20.0%>	<20.5%>	<+0.5%>	<20.3%>
販管費	244	251	+7	247
営業利益	193	206	+13	206
経常利益	194	210	+16	210
親会社株主に帰属する 当期純利益 ※	112	135	+23	135

※2016/3期は、投資有価証券評価損 -5億円、税制改正に伴う繰延税金資産の取崩し -5億円を含む。

Ⅱ-3. 2017年3月期 連結業績見通し サービス・顧客業種別売上高

単位:億円	2016/3期		2017/3期		対前年差異		2017/3期		対期首見通し差異	
	実績 A	うち ITインフラ	見通し B	うち ITインフラ	B-A	うち ITインフラ	期首見通し C	うち ITインフラ	B-C	うち ITインフラ
業務ソリューション	1,184	308	1,210	315	+26	+7	1,210	335	-	-20
産業・流通・サービス	545	176	565	180	+20	+4	585	200	-20	-20
金融	361	85	350	90	-11	+5	340	95	+10	-5
公共公益他	278	48	295	45	+17	-3	285	40	+10	+5
サービスソリューション	747		760		+13		760		-	
ITインフラ	270	<308>	300	<315>	+30	<+7>	300	<335>	-	<-20>
鉄鋼	476		460		-16		460		-	
子会社等	256		260		+4		260		-	
合計	2,187		2,230		+43		2,230		-	
(参考)NSSMC向け	(469)		(456)		(-13)		(450)		(+6)	

Ⅱ-4. 2017年3月期 下期見通し サービス・顧客業種別売上高

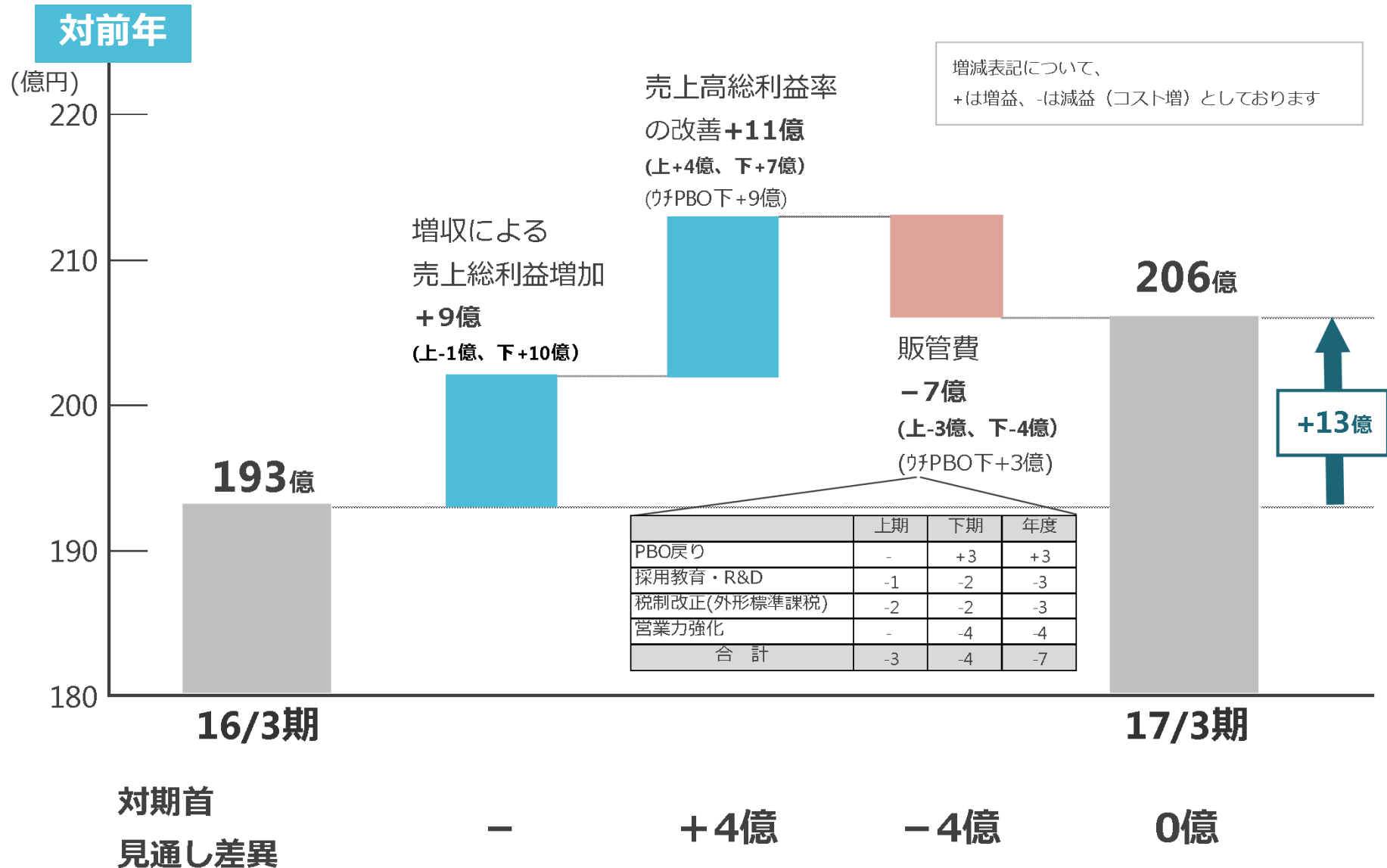
単位:億円	2016/3期		2017/3期		対前年差異		コメント
	下期実績 A	うち ITインフラ	下期見通し B	うち ITインフラ	B-A	うち ITインフラ	
業務ソリューション	623	152	639	163	+15	+11	
産業・流通・サービス	280	85	294	96	+15	+11	製造業の増、ネット系、小売は昨年水準並み
金融	182	47	168	49	-14	+2	メガバンク大型案件のピークアウト
公共公益他	162	20	176	18	+15	-2	官公庁向け基盤案件の増
サービスソリューション	365		394		+29		
ITインフラ	135	<152>	161	<163>	+26	<+11>	クラウド、DaaS/VDIの増
鉄鋼	229		232		+3		NSSMC向けは昨年水準を維持
子会社等	136		139		+3		
合計	1,124		1,171		+48		
(参考)NSSMC向け	(228)		(230)		(+2)		

※ 2017/3期下期見通しは新年度見通し-上期実績

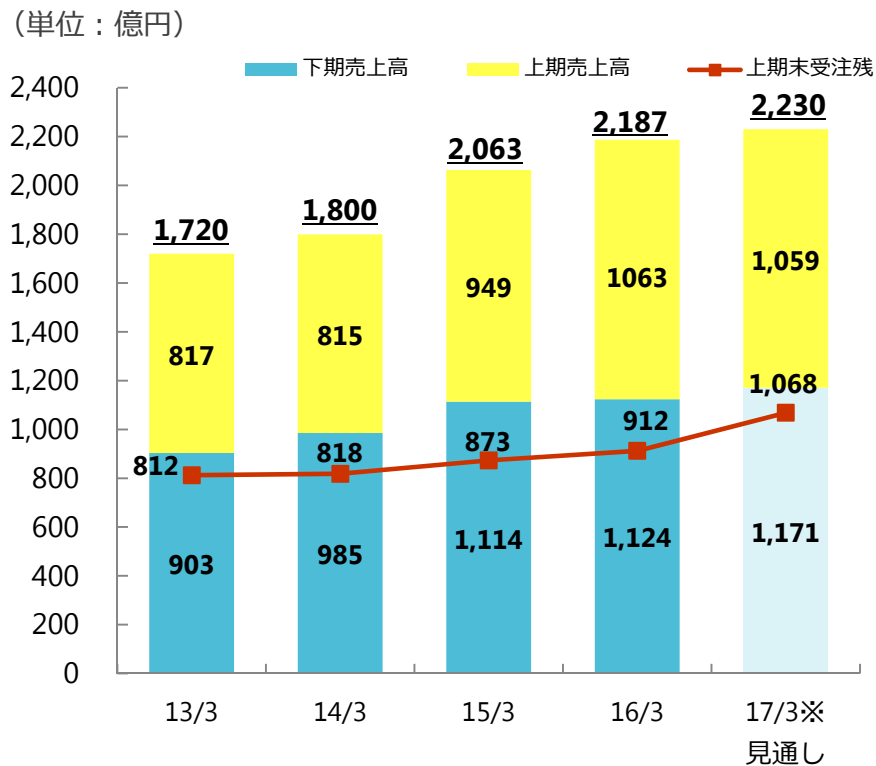
Ⅱ-5. 2017年3月期 連結業績 上下別

単位: 億円	2016/3期		2017/3期		対前年		期首 下期 見通し E	対期首下期 見通し差異 D-E
	上期 実績 A	下期 実績 B	上期 実績 C	下期 見通し D	上期 差異 C-A	下期 差異 D-B		
売上高	1,063	1,124	1,059	1,171	-4	+48	1,200	-29
業務ソリューション	675	750	683	767	+8	+17	795	-28
サービスソリューション	388	374	375	405	-13	+31	405	-0
売上総利益	220	217	223	234	+3	+17	242	-8
<売上高総利益率>	<20.7%>	<19.3%>	<21.0%>	<20.0%>	<+0.4%>	<+0.7%>	<20.2%>	<-0.2%>
販管費	122	123	125	126	+3	+4	123	+3
営業利益	98	95	98	108	+0	+13	119	-11
経常利益	101	93	102	108	+2	+15	120	-12
親会社株主に帰属する 当期純利益	60	51	66	69	+6	+18	79	-10
(参考)NSSMC向け	(241)	(228)	(226)	(230)	(-15)	(+2)	(230)	(-)
期首受注残	859	912	970	1,068	+111	+156		
PBO割引率見直しを除く 売上高総利益率		20.2%		20.0%				

Ⅱ-6. 2017年3月期 連結営業利益分析



Ⅱ-7. 持続的事業成長の実現



上期末従業員数 (人)

12/9	13/9	14/9	15/9	16/9
5,042	5,072	5,381	5,665	5,898

※ 17/3期上期は実績、下期は見通し

- ・ アカウント戦略に基づく
事業部間の営業連携推進
- ・ ITパートナー戦略に基づく
顧客とのリレーション強化
による長期案件の獲得
- ・ 持続的事業成長を支える
直営リソースの拡充

Ⅱ-8. 配当方針

当社は将来にわたり競争力を維持強化し、企業価値を高めていくことが重要と考えております。利益配分につきましては、株主の皆様に対する適正かつ安定的な配当及び事業成長に備えた内部留保を確保することを基本としております。

配当につきましては、連結業績に応じた利益還元を重視し連結配当性向30%を目安といたします。

1 株当たり年間配当金の計画

2017年3月期

(通期)

45.00円

(参考) 2016年3月期

42.50 円

2Q末に1株当たり22円50銭を配当致します。期末に1株当たり22円50銭を配当する予定です。

※2016年3月期の配当額は、期首に株式分割があったものと仮定して算出しております。



トピックス

ネットワークバリューコンポネンツ（NVC）社の 完全子会社化を目的とした株式交換契約を締結（9月30日発表）

- ◆ NVC社：ネットワーク及びネットワーク・セキュリティ分野において、多くの新しい製品・技術を日本市場に導入してまいりました。近年はセキュリティサービス事業の強化を図っております。
- ◆ 背景・目的：当社とNVC社は、2013年5月に出資を伴う業務提携を行い、ネットワーク及びネットワーク・セキュリティ分野において、両社で新たなソリューションを開発するなど協働を進めてまいりました。今回、両社が強固な連携体制を構築し、意思決定のスピードアップ・経営効率化等を図る為にNVC社の完全子会社化を目的とした株式交換契約を締結しました。
- ◆ シナジー：当社はNVC社の新製品開拓力、セキュリティ運用力を活用し、ITアウトソーシング事業の競争力を強化してまいります。また、NVC社はNSSOLのグループ会社として、高度なネットワーク・セキュリティ製品及びソリューションの開拓力、販売・保守力を更に強化してまいります。両社で連携してNSSOL連結のトップライン成長、収益力の強化を進めます。

NVC社(連結) 業績推移

(単位：百万円)

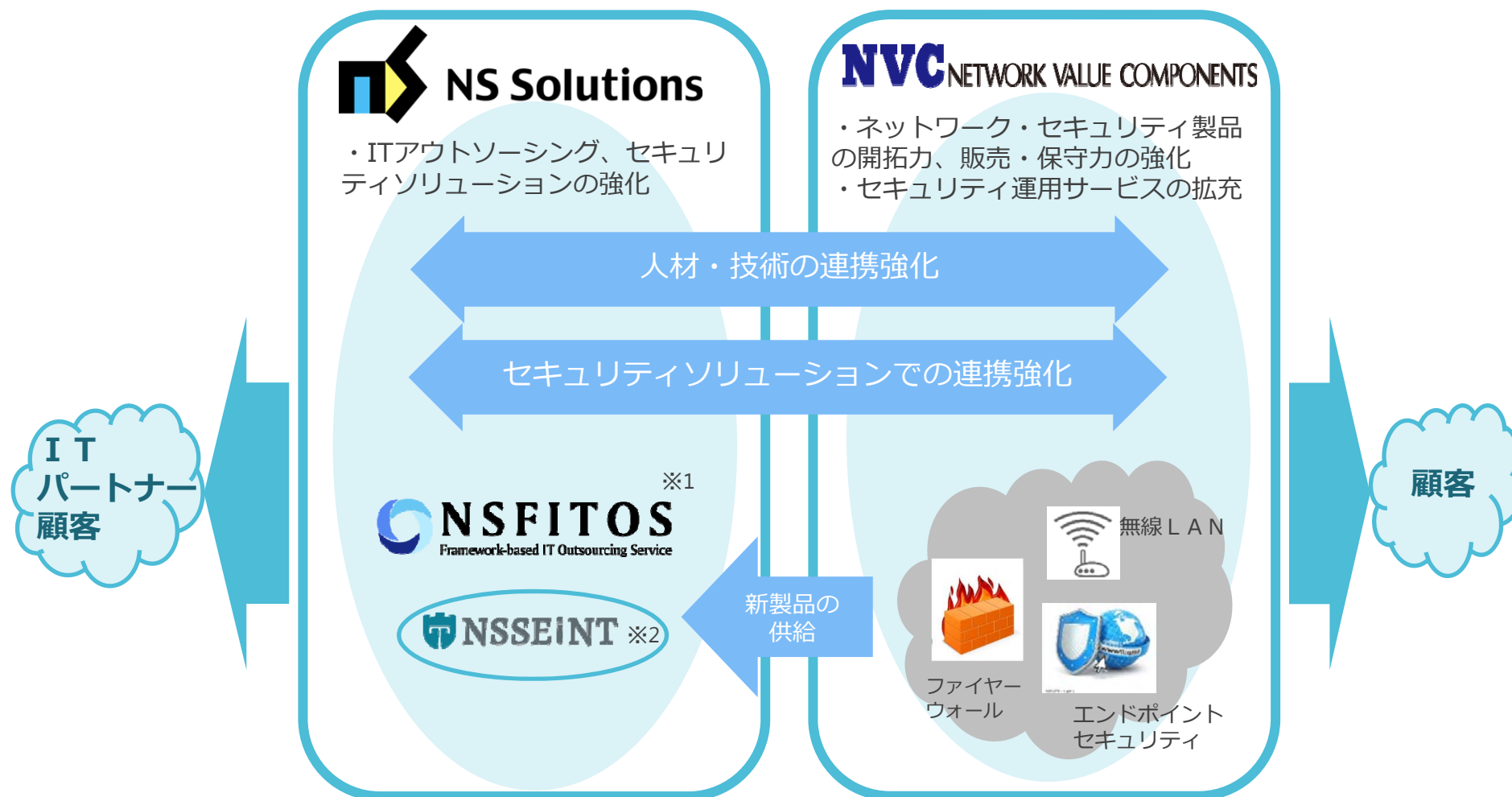
	2014年12月期	2015年12月期	2016年12月期見通し	2016年12月期中間実績
売上	2,881	3,415	3,720	1,592
経常利益	8	157	321	147
当期純利益	66	101	275	76

今後のスケジュール

2016年11月30日（予定）	NVC社において臨時株主総会（株式交換契約の承認）
2017年1月1日（予定）	完全子会社化

NVC社完全子会社化が今期の当社業績に与える影響は軽微であると見込んでおります。

NVC社との連携イメージ



※1: NSFITOS (NS Framework-based IT Outsourcing Service) : 包括的 IT アウトソーシングサービス

※2: NSSEiNT: セキュリティ導入から運用までをワンストップで提供するサービス

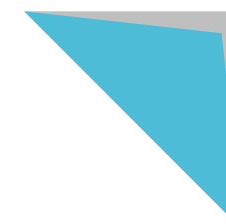
NSFITOS、NSSEiNTはNSSOLの商標登録です。

4月以降 主要プレスリリース①

- 4月12日 トマト銀行、外為総合インターネットサービス～CrossMeetz～を導入
- 4月20日 国内初、クラウド運用基盤に「IPcenter」を採用
マネージドクラウド・サービス「absonne」（アブソヌ）の運用サービスを強化
- 4月26日 電子契約サービス「CONTRACTHUB@absonne」機能追加
「スマートフォンからの利用」や「電子捺印機能の追加」により利用シーンを拡大
- 4月27日 八十二銀行、法人向け外為インターネットバンキングに
外為総合インターネットサービス～CrossMeetz～を採用
- 5月2日 Oracle Cloud Platform向け活用支援サービスの提供を開始
Oracle BI Cloud ServiceとOracle DB Cloud Serviceのワンストップな活用支援サービスを提供
- 5月19日 運用の「品質向上」と「工数削減」を実現する、
次世代運用サービス「emerald」（エメラルド）を提供開始
- 5月19日 北九州市にITアウトソーシング拠点「NSFITOSセンター」設立
運用サービス拠点の東西2拠点化により、より強固なシステム基盤をお客様へ提供
- 5月25日 横河電機、多様なワークスタイル対応と更なる業務効率の向上に向けて
クライアント仮想化ソリューション「M³DaaS@absonne」の利用を開始
- 6月9日 L I X I L、全社横断の製造実行システムを導入
グローバルな競争力強化に向けた「DELMIA Apriso」導入をNSSOLが支援

4月以降 主要プレスリリース②

- 7月1日 新日鉄住金ソリューションズ、
AI・機械学習の活用を加速するプラットフォーム「DataRobot」の提供を開始
- 7月12日 日本住宅ローン、日本初の住宅ローンの電子契約を実現
電子契約サービスCONTRACTHUB@absonneを導入
- 8月4日 ミツカン、受注・在庫管理システムを再構築
ホスト撤廃でランニングコストを75%削減
- 8月5日 大東建託、ITアウトソーシングサービス「NSFITOS」により
「ITインフラの品質向上」と「IT部門の企画業務へのシフト」を実現
- 9月5日 常陽銀行、法人向け外為インターネットバンキング～CrossMeetz～に
実勢為替レートによる外貨預金サービスの導入
- 9月30日 新日鉄住金ソリューションズ株式会社による株式会社ネットワークバリューコンポーネツの
簡易株式交換による完全子会社化に関する株式交換契約締結のお知らせ
- 10月6日 男子プロバスケットボールB.LEAGUE、リーグ戦の試合日程の作成に新日鉄住金ソリューションズが
「試合日程自動作成システム(B.SCHEDULER)」を導入
- 10月24日 日鐵住金溶接工業、千葉工場の投入計画システムを新日鉄住金ソリューションズと共同開発
- 10月27日 新日鉄住金ソリューションズ、
データ分析統合環境「Data Veraci@absonne」を自社クラウド上で提供開始



本資料には当社又は当社役員の当社の営業成績及び財政状態に関する意図、意見又は現時点の予想と関連する将来予想が記載されております。この将来予想は、歴史的事実でも将来の業績を保証するものでもないため、リスクと不確定な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。当社は、この将来予想を、これらの変化要因を反映するために修正することを保証するものではありません。



<http://www.nssol.nssmc.com/>

NS Solutions、NSSOL、NSロゴは、新日鉄住金ソリューションズ株式会社の商標又は登録商標です。
その他、資料中に記載の会社名・製品名は、それぞれ各社の商標又は登録商標です。